

ケ 消 防

事業名	消防団機械器具置場建設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 款	09	消防費			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			算 项	01	消防費			
主管課	消防本部 消防総務課		主管課長	北野 浩一郎		事業コード	02 — 54			
事業目的	対象（誰を・何を） 市民・消防団			意図（どういう状態にしたいのか） 地域の防災拠点の充実と消防団の士気の高揚を図る。						
事業内容	市内23ヶ所に設置している消防団機械器具置場を、建築後30年を目安に計画的に建替え整備を行うもの。									
事業の実績	消防団機械器具置場建設	1	箇所	決算額	事業費計		13,335,000 円			
	消防団機械器具置場使用の支障回数	3	個		国庫支出金		0 円			
					県支出金		1,922,000 円			
					分担金・負担金		0 円			
					使用料・手数料		0 円			
					基金繰入金		0 円			
					地方債		9,400,000 円			
					その他特定財源		0 円			
					一般財源		2,013,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果	地域住民の安心安全と消防団員の士気の高揚が図られる。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定		無		



消防団第20分団機械器具置場

事業名	防火水槽整備事業			会計	O1	一般会計	予算区分	政策		
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算 科 目	O9	消防費			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			項	O1	消防費			
主 管 課	消防本部 消防防災課		主 管 課 長	秋谷 哲夫		事 業 コ ー ド	03 — 51			
事 業 目 的	対象（誰を・何を） 消防水利の防火水槽			意図（どういう状態にしたいのか） 消防水利の適正配置として消火栓に偏らず防火水槽とのバランスがとれた防火対策を強化する。						
事 業 内 容	消防法第20条第1項の規定により定められた「消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）」に基づき、消防水利を適正に整備し、さらに開発行為等の消防水利の設置指導により市内の消防水利の充実を図るために、つくばエクスプレス沿線整備に伴って防火水槽の設置を行なうもの。									
事 業 の 実 績	防火水槽の充足率	42.31	%	決 算 額	事業費計 国庫支出金 県支出金 分担金・負担金 使用料・手数料 基金繰入金 地方債 その他特定財源 一般財源		19,162,500 円 10,000,000 円 0 円 0 円 0 円 0 円 7,400,000 円 0 円 1,762,500 円			
指標で表すこと ができるない 定性的な成果	消防水利の基準における防火水槽の容量は40m ³ 以上とされるが、過去に整備された防火水槽には40m ³ 未満の容量のものも設置されている。	總越・ 継続費 の状況	總越の有無	無	継続費の設定			無		



新たに設置された耐震性を備えた防火水槽

事業名	消防救急無線デジタル化県域共同整備事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算 科	款 09	消防費				
	施 策 2-3 自然災害・都市災害への備えと予防			項 01	消防費					
				目 03	消防施設費					
主管課	消防本部 消防防災課			主管課長	秋谷 哲夫		事業コード	04 — 56		
事 業 目 的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）						
	無線基地局、移動・携帯無線機及び消防団用無線機			電波法の改正により、平成24年度中に消防・救急無線のアナログ方式をデジタル方式に移行する。						
事 業 内 容	電波法の改正で消防救急無線デジタル化に伴い県域一体整備を図ることから、県下31消防本部の一括共同事務処理団体の千葉県市町村組合に負担金として支払うもの、なお消防本部車両の移動局及び携帯無線並びに消防団用無線機は、各消防本部の単独整備として図るもの。									
事 業 の 実 績				決 算 額	事業費計	66,941,468 円				
					国庫支出金	0 円				
					県支出金	0 円				
					分担金・負担金	0 円				
					使用料・手数料	0 円				
					基金繰入金	0 円				
					地方債	35,100,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	県内消防本部共同で整備を行うため、大規模災害に対応する消防無線網の広域化、整備事業費の削減が図れる。			繰越・ 継続費 の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無		
					翌年度への明許繰越額 93,475,000円					



消防本部庁舎の屋上に設置されたデジタル無線用ダイバーシティアンテナ

事業名	高規格救急自動車整備事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算 科 目	09	消防費			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			項 目	01	消防費			
主管課	消防本部 消防防災課		主管課長	秋谷 哲夫		事業コード	05 — 65			
事 業 目 的	対象（誰を・何を） 高規格救急自動車			意図（どういう状態にしたいのか） 当該車両を更新整備し、救急救命士の高度応急処置を積極的に実施し、救命率の向上を図る。						
事 業 内 容	救急救命士の救命処置を迅速かつ適切に実施できる環境を整備するため、経年劣化が著しい、高規格救急自動車の更新整備を図るもの。									
事 業 の 実 績	救急救命処置実施件数	162	件	決 算 額	事業費計		31,272,540 円			
					国庫支出金		0 円			
					県支出金		3,967,000 円			
					分担金・負担金		0 円			
					使用料・手数料		0 円			
					基金繰入金		0 円			
					地方債		23,000,000 円			
					その他特定財源		0 円			
					一般財源		4,305,540 円			
					継続の有無	無	継続費の設定	無		
指標で表すこ とができるない 定性的な成果			継続費 の状況							



最新の高度救命処置用資機材を装備し北消防署に配備された高規格救急自動車

事業名	化学消防ポンプ自動車整備事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策				
政 策	02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 款	09	消防費						
	施 策 2-3 自然災害・都市災害への備えと予防			算 科	01	消防費						
				目	03	消防施設費						
主管課	消防本部 消防防災課		主管課長	秋谷 哲夫		事業コード	05 — 73					
事業目的	対象（誰を・何を） 化学消防ポンプ自動車			意図（どういう状態にしたいのか） 経年劣化による老朽化が著しい当該車両を、最新性能を具備した新型車両に更新し消防力の強化を図る。								
事業内容	市内随所に点在する、ガソリン、化学薬品その他の危険物品を取り扱い又は貯蔵する危険物施設等における特殊火災や、市内を横断する常磐高速自動車や主要幹線道路等におけるタンクローリー事故による車両火災等に対応するため、最新の装備を備えた当該消防車両の更新整備を図るもの。											
事業の実績				決 算 額	事業費計		56,121,169 円					
					国庫支出金		0 円					
					県支出金		0 円					
					分担金・負担金		0 円					
					使用料・手数料		0 円					
					基金繰入金		0 円					
					地方債		50,200,000 円					
					その他特定財源		0 円					
				一般財源		5,921,169 円						
指標で表すことができない定性的な成果				繰越の有無		無	継続費の設定	無				
			繰越・ 継続費 の状況									



最新の化学消火資機材を装備し中央消防署に配備された化学消防ポンプ自動車

事業名	南消防署建設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算 科 目	款 09	消防費			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			項 01	消防費				
主管課	消防本部 消防総務課		主管課長	北野 浩一郎		事業コード	05 — 81			
事 業 目 的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）						
	流山市南部地区			地域防災体制が強化される。						
事 業 内 容	昭和57年に建設され経年による老朽化の激しい南消防署を解体し、同敷地に新たに庁舎を建設するもの。									
事 業 の 実 績				決 算 額	事業費計		21,840,000 円			
					国庫支出金		0 円			
					県支出金		0 円			
					分担金・負担金		0 円			
					使用料・手数料		0 円			
					基金繰入金		0 円			
					地方債		0 円			
					その他特定財源		0 円			
				一般財源		21,840,000 円				
指標で表すこ とができるない 定性的な成果				継続の有無	無	継続費の設定		無		
継続費 の状況										



解体する南消防署

事業名	防災行政無線更新事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			予 算 科	款 09	消防費				
	施 策 2-3 自然災害・都市災害への備えと予防			項 01	消防費					
				目 05	災害対策費					
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鈴木 紳一		事業コード	02 — 51			
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）						
	全市民			災害時に住民に対し、迅速な情報伝達を行うもの。						
事業内容	防災行政無線の老朽化により、緊急地震速報やJ-ALERT情報の自動発信ができず、災害時の情報連絡体制に支障が生じる恐れがあることから、平成21年度に防災行政無線の親局の更新を実施したとともに、既存の子局について更新を図る。									
事業の実績	子局更新	10	箇所	決算額	事業費計	24,314,157 円				
	子局増設	2	箇所		国庫支出金	12,000,000 円				
					県支出金	0 円				
					分担金・負担金	0 円				
					使用料・手数料	0 円				
					基金繰入金	0 円				
					地方債	11,000,000 円				
					その他特定財源	0 円				
					一般財源	1,314,157 円				
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・ 継続費 の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無		



更新整備した防災行政無線屋外子局

事業名	防災行政無線子局増設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）				予 款	09	消防費		
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防				予 算 科 目	01	消防費		
主 管 課	市民生活部 防災危機管理課		主 管 課 長	鈴木 紳一		事 業 コ ー ド	02 — 52			
事 業 目 的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）					
	全市民				災害時に住民に対し、迅速な情報伝達を行うもの。					
事 業 内 容	新たな新市街地の形成により、防災行政無線による災害時の情報連絡体制に支障が生じる恐れがあることから、防災行政無線の子局未設置区域に新たに設置するもの。									
事 業 の 実 績	子局更新	10	箇所	決 算 額	事業費計		5,820,843 円			
	子局増設	2	箇所		国庫支出金	3,000,000 円				
					県支出金	0 円				
					分担金・負担金	0 円				
					使用料・手数料	0 円				
					基金繰入金	0 円				
					地方債	2,600,000 円				
					その他特定財源	0 円				
					一般財源	220,843 円				
指標で表すことができない定性的な成果		継 越 ・ 繼 続 費 の 状 況	継越の有無		無	継続費の設定		無		

事業名	東谷地区市有地防災広場整備事業			会計	O 1	一般会計	予算区分	政策		
予 算 科	款	O 9	消防費							
政 策	O 2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			項	O 1	消防費			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			目	O 5	災害対策費			
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鈴木 紳一		事業コード	O2 — 56			
事 業 目 的	対象（誰を・何を） 全市民			意図（どういう状態にしたいのか） 防災広場としての活用とともに地域コミュニティの場としても有効活用を図る。						
事 業 内 容	大規模地震等による災害発生時に、地域住民等の被害軽減及び応急復旧等の活動を遂行するための拠点となる広場を整備する。									
事 業 の 実 績	災害予防について安全だと思う人の割合	40.70	%	決 算 額 財 源 内 訳	事業費計	12,560,835 円				
					国庫支出金	0 円				
					県支出金	0 円				
					分担金・負担金	0 円				
					使用料・手数料	0 円				
					基金繰入金	0 円				
					地方債	0 円				
					その他特定財源	0 円				
					一般財源	12,560,835 円				
指標で表すこ とができるない 定性的な成果			繰越・ 継続費 の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無			



東谷市有地防災広場に設置したかまどベンチ

事業名	防災備蓄倉庫設置事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策		
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）				予 款	09	消防費		
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防				予 算 科 目	01	消防費		
主管課	市民生活部 防災危機管理課		主管課長	鈴木 純一		事業コード	05 — 51			
事 業 目 的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）						
	災害時に避難所へ避難した市民等			市内各所の避難所に防災備蓄倉庫を整備し、救援物資を被災者に速やかに配給できる。						
事 業 内 容	災害に備えるため、小・中学校に余裕教室の利用や他の市施設等に防災備蓄倉庫を設置する。防災備蓄倉庫を各避難場所等に整備することにより災害に対する備えができる。									
事 業 の 実 績	防災備蓄倉庫整備箇所	2	カ所	決 算 額	事業費計		18,465,352 円			
	防災備蓄倉庫整備済箇所	21	カ所		国庫支出金		0 円			
					県支出金		0 円			
					分担金・負担金		0 円			
					使用料・手数料		0 円			
					基金繰入金		0 円			
					地方債		0 円			
					その他特定財源		0 円			
					一般財源		18,465,352 円			
指標で表すこ とができない 定性的な成果			継続・ 継続費 の状況	継続の有無	無	継続費の設定	無			



木の図書館に併設した防災備蓄倉庫



東谷防災広場に設置した防災備蓄倉庫